



玉城デニー知事Ⅱ写真Ⅱ
は19日、火災で正殿などが
焼失した首里城について

知事 再建へ決意表明

札幌基地問題も訴え

「先祖への敬いが形となつた首里城は、沖縄県民の心のよりどころ。必ず復元する」と再建への決意を表明した。米軍基地問題の議論を全国的に深めるための「トークキャラバン」で訪問した札幌市での講演で述べた。

講演会は約1100人が

191120 沖縄タイムス2面

来場。玉城知事は復元の課題を「足りないのは資材と職人の技術だ」と指摘した。

首里城は琉球王国の政治、外交、文化の中心。太平洋戦争で全ての建物が焼失したが、1992年の沖縄復帰20周年を記念し、主要施設が復元され2000年には首里城跡が世界遺産に登録された。10月末の火

災で正殿など主要施設が全焼。現在再建に向け、政府の作業部会や県が検討を進めている。

基地問題を巡っては「札幌市と沖縄県（本島）はほぼ同じ面積。札幌市に日本全体の約70%の米軍施設を置かれたらどうか。置き換えて考えてみてほしい」と呼び掛けた。